

乳房再建

乳房再建とは、乳がんなどにより乳房切除術を必要とする患者さんの乳房を取り戻す治療です。乳房再建には様々な方法がありますが、当院では患者さんの状況や希望に合わせて再建方法や時期を決めるように心がけています。

＜再建の時期について＞

乳房再建には乳がん手術と同時に再建を行う一次再建と、乳がん手術後しばらく経ってから再建を行う二次再建があります。それぞれ利点と欠点がありますので、当院では乳がん手術前に患者さん、乳腺外科の先生とよく相談をした上で方針を決めております。

＜再建の方法について＞

乳房再建にはご自身の組織を用いる方法（自家組織再建）と、シリコン乳房インプラントを用いる方法（人工物再建）があり、どちらも保険診療で行うことができます。

それぞれ利点と欠点があり、また患者さんの状況により向き不向きもあります。術前によく相談をして、ご自身に最適な再建方法を選択いただきます。主な特徴は以下の通りです。

◎自家組織再建

利点：柔らかい、動きがあり自然、暖かい、メンテナンスの必要性が少ない

欠点：他の部位に瘢痕が残る（一部の方法を除く）、移植組織壊死のリスクがある（下腹部組織を用いた場合）

◎人工物再建

利点：他の部位に瘢痕が残らない、手術時間が短い

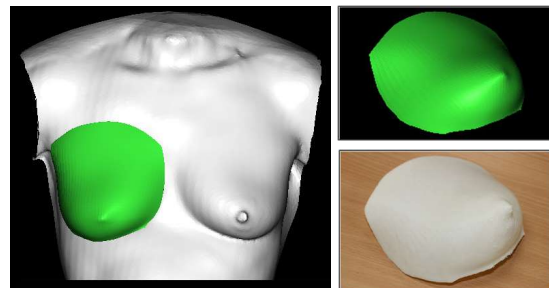
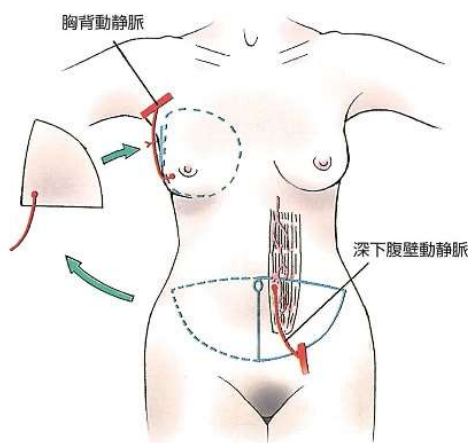
欠点：自然さは自家組織再建に劣る、メンテナンスが必要（人工物破損や被膜拘縮による変形）、下垂した乳房の再建は難しい

＜自家組織再建について＞

当院では主に下腹部の脂肪組織を移植する方法(遊離深下腹壁動脈穿通枝皮弁)と、背中の筋肉と脂肪を移植する方法(広背筋皮弁)を用いております。主な特徴は以下の通りです。

◎遊離深下腹壁動脈穿通枝皮弁

大きな乳房の再建、放射線照射後の再建および両側乳房の再建に適しています。皮弁採取後の下腹部瘢痕は長いですが、ジーンズで隠れる位置です。当院では、脂肪吸引を併用することで、下腹部形態を整える工夫を行なっております。さらに、術前に撮影した 3D データから目標とする乳房の 3D モデルを作成することで、より精度の高い再建を行っています。



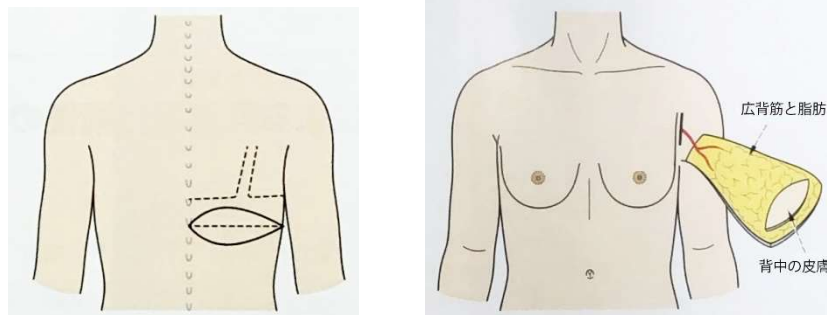
反対側の乳房の形から目標とする乳房の 3D データを作成・印刷することで、手術中に用いる 3D モデルを作成します。

(参考文献)

- ・ Tomita K, Yano K, et al. DIEP flap breast reconstruction in patients with breast ptosis: two-stage reconstruction using 3-dimensional surface imaging and a printed mold. Plastic and Reconstructive Surgery Global Open, 5(10):e1511, 2017
- ・ Tomita K, Yano K, et al. DIEP Flap Breast Reconstruction Using 3-Dimensional Surface Imaging and a Printed Mold. Plastic and Reconstructive Surgery Global Open, 3(3) e316, 2015
- ・ 乳房再建(遊離皮弁)における 3D 形状測定の現状
富田 興一、矢野 健二 形成外科 59 (10), 1093-1099, 2016-10
- ・ DIEP flap とエキスパンダーを用いた二次乳房再建
富田 興一、矢野 健二 医学のあゆみ 255 (4), 271-275, 2015
- ・ 皮弁の実際：安全な挙上法および臨床応用 DIEP
富田 興一、矢野 健二 形成外科 58 (6), 609-616, 2015-06

◎広背筋皮弁

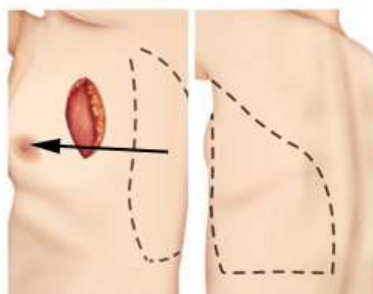
移植できるボリュームが少ないことが本法の難点でしたが、当院ではお腹や太ももからの脂肪吸引と移植を併用することで、小さめ～中等度サイズの乳房再建に用いております。腹部に瘢痕を残したくない方、既に腹部皮弁を使用済の方に適しています。皮弁採取部は、背中の下着ラインに沿った 11 から 15 センチ程の瘢痕となります。日常生活における術後機能障害はほとんどありません。



(参考文献)

- ・ Taminato M, Tomita K, et al. Fat-augmented latissimus dorsi myocutaneous flap for total breast reconstruction: A report of 54 consecutive Asian cases. Journal of Plastic, Reconstructive and Aesthetic Surgery, 74(6):1213-1222, 2021
- ・ 広背筋皮弁と脂肪注入を併用した乳房再建
富田 興一ほか Pepars (183) 146-153, 2022
- ・ 脂肪注入術の生着率を向上させる方法(3)皮弁移植との併用
會沢 勇亮、富田 興一ほか 形成外科 62 (5), 497-503, 2019

さらに、皮膚の欠損が無い、または組織拡張器(ティッシュ・エキスパンダー)で皮膚が十分に拡張されている場合、背部の切開無しでの再建も可能です。



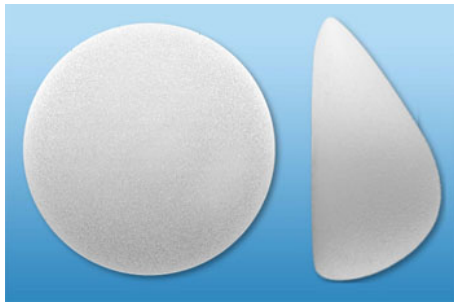
乳がん手術の切開から広背筋のみを採取しますので、背中に傷は残りません。
ただ、広背筋のみではボリュームが不足しますので、お腹や太ももから吸引した脂肪を広背筋へ移植してボリュームを増大します。

(参考文献)

- ・ Maitani K, Tomita K, et al. Scarless Total Breast Reconstruction with a Fat-augmented Latissimus Dorsi Flap. Plastic and Reconstructive Surgery Global Open, 9(10):e3887, 2021

＜人工物再建について＞

しずく型（アナトミカル型）と丸型（ラウンド型）のシリコン乳房インプラントがあり、患者さんの体格や希望に応じて使い分けることができます。当院では人工物再建においても、お腹や太ももからの脂肪吸引と移植を併用することで、術後成績の向上を目指しております。



しずく型インプラント



丸型インプラント

＜乳輪乳頭再建について＞

乳輪乳頭の切除が必要であった患者さんでも、それらの再建が可能です。乳頭再建には胸の皮膚を立ち上げる方法や、反対側の乳頭の一部を移植する方法があります。乳輪再建にはアートメイクを行う方法や、大腿内側基部から植皮を行う方法があります。